

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	札幌大学
設置者名	学校法人札幌大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
地域共創学群	人間社会学域	夜・通信	12	54		66	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

【ホームページ】 https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#shugaku-shien
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	札幌大学
設置者名	学校法人札幌大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>【ホームページ】札幌大学について 学校法人札幌大学 役員等名簿 役員（理事・監事）令和2年度4月1日現在 https://www.sapporo-u.ac.jp/img/yakuin.pdf</p> <p>【印刷物】「2019(令和元)年度 事業報告・2020(令和2)年度事業現況」 2-7 役員の概要・2-8 評議員の概要 2020(令和2)年度5月1日現在</p>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	株式会社役員	2019.11.16 ～ 2023.11.15	経営計画の策定
非常勤	株式会社役員	2019.11.16 ～ 2023.11.15	組織運営体制への チェック機能
(備考) 学外者7名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌大学
設置者名	学校法人札幌大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 11月下旬、授業科目担当者に対し以下の項目に関して記載すべき事項を示した「シラバス入稿要領」を配布し、シラバス作成を依頼。 「成績評価」項目については、規程に則りかつ評価割合を明記するよう依頼するとともに具体例を示している。 【シラバス記載事項】 ①テーマ、②到達目標、③授業概要、④授業計画、⑤事前学習、⑥事後学習、⑦成績評価、⑧テキスト、⑨参考文献、⑩特記事項、⑪オフィスアワー</p> <p>1 月末の入稿期限後、学長を総責任者としたシラバス確認作業の体制をとり、全授業科目のシラバスの点検を行っている。 【確認体制】 総責任者：学長 実務責任者：教務担当副学長、FD・SD 委員長、学務部長 点検担当者：専攻長、教務委員、教務担当副学長、FD・SD 委員長</p> <p>以上の過程を経て、3月下旬に WEB 上で公開し、1 年次開設科目については冊子を作成し、新入生にガイダンスにおいて配布している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>【ホームページ】 シラバス http://syllabus.sapporo-u.ac.jp/index.html</p> <p>【総合学生支援システム (アイトス)】 シラバス</p> <p>【印刷物】 講義要綱 (シラバス)</p> <p>※1年のみガイダンスで配布</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則において、「履修した授業科目については、試験を行い、学業成績を考査する。試験は筆記、口頭、実技及びレポートによって行う。」と定めている。 これに則り、シラバスに「授業計画」及び「成績評価」等を明記し、学生に周知している。 シラバスの授業計画に基づき、試験を行い、評価、履修の認定を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則において、「学業成績は、AA、A、B、C、D及びEに分け、AA、A、B及びCを合格とし、合格した授業科目については、所定の単位を与える。」と定めている。</p> <p>履修に関する学務規程において、「学業成績による学業結果を総合的に判断する指標として、総合平均点(GPA)を用いる。GPAは、学業成績のうち、AAにつき4.0、Aにつき3.0、Bにつき2.0、Cにつき1.0、D及びEにつき0をそれぞれ評価点として与え、各授業科目の評価点にその単位数を乗じて得た積の合計を、登録科目の総単位数で除して算出する。」と客観的な指標を設定し、添付資料のとおり、成績の分布状況を把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>【ホームページ】成績評価・GPA制度について https://www.sapporo-u.ac.jp/campuslife/support-study/learning-support.html#sp2</p> <p>【規程】札幌大学履修に関する学務規程</p> <p>【印刷物】履修のてびき</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]</p> <p>建学の精神「生氣あふれる開拓者精神」のもと、「地域共創」の理念を体現し、教育目標に謳われる「生氣に溢れ、知性豊かな、信頼される人間」に成長し、以下に掲げる資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。</p> <p><知識・理解></p> <p>言語、歴史、自然、文化、政治、経済、産業、社会、法制度、地域、国際、スポーツの諸側面から人間と社会に関する理解を深め、急激な変化を繰り返す21世紀の社会に対し、持続的かつ総合的に対処できる広い視野と知識を身につけていること。</p> <p><関心・意欲></p> <p>地域の政治、経済、産業、社会、文化の発展を希求し、経済学、外国語学、経営学、法学、文化学に関する専門知識を駆使してその推進に貢献する意欲を身につけていること。</p> <p><技能・表現></p> <p>基礎的な語学力をベースに国境を越えて発展する地域の諸相を見聞・体感し、情報を収集・分析する技能と、それを分かり易く表現する能力を身につけていること。</p> <p><態度・志向性></p> <p>地域の取り組みに参加することを通じて、地域において他者と共に新しい価値を生み出す力、すなわち「地域共創力」を身につけていること。</p> <p>以上のようにディプロマ・ポリシーを定め、ホームページ・履修のてびきにおいて公表している。また、これに基づき教育課程表を定め、公表し、2月末に卒業判定を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>【ホームページ】学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]</p> <p>https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/outline/policy.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	札幌大学
設置者名	学校法人札幌大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#zaimu
収支計算書又は損益計算書	https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#zaimu
財産目録	https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/#zaimu
事業報告書	https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/organization/#report
監事による監査報告(書)	https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/organization/#report

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:令和2年度事業計画 対象年度:2020年度)
公表方法:【ホームページ】 https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/organization/#report
中長期計画(名称:札幌大学中長期構想 札幌みらいフロンティア・プラン 対象年度:2019年度~2023年度)
公表方法:【ホームページ】 https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/organization/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:【ホームページ】 https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/evaluation/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:【ホームページ】 https://www.jiheer.or.jp/kikanbetsu/2017/28sapporo_university.pdf
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

<p>学部等名 地域共創学群</p> <p>教育研究上の目的（公表方法：)</p> <p>【ホームページ】</p> <p>教育研究上の基本的な情報 https://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/</p> <p>経済学専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-keizai.html#cp_kz</p> <p>地域共創専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-sousei.html#cp_ss</p> <p>経営学専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-keiei.html#cp_ke</p> <p>法学専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-hougaku.html#cp_hg</p> <p>現代政治専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-seiji.html#cp_sj</p> <p>英語専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-english.html#cp_en</p> <p>ロシア語専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-russian.html#cp_rus</p> <p>歴史文化専攻 https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-history.html#cp_his</p> <p>日本語・日本文化専攻</p> <p>https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-japanese.html#cp_jp</p> <p>中国語・中国文化専攻</p> <p>https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-chinese.html#cp_ch</p> <p>異文化コミュニケーション専攻</p> <p>https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-communication.html#cp_com</p> <p>スポーツ文化専攻</p> <p>https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-sports.html#cp_sp</p> <p>リベラルアーツ専攻</p> <p>https://www.sapporo-u.ac.jp/department/major-liberalarts.html#cp_lb</p> <p>建学の精神・教育目標・教育方針</p> <p>https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/outline/spirit.html#educational-goal)</p>
<p>(概要)</p> <p>建学の精神「生氣あふれる開拓者精神」のもと、次の 3 つの教育目標とそれに連なる 5 つの教育方針を掲げ、教育改革、研究活動や社会貢献の推進、学生サービスの向上を目指している。</p> <p>教育目標</p> <p>「生氣あふれる人間」の育成</p> <p>「知性豊かな人間」の育成</p> <p>「信頼される人間」の育成</p> <p>教育方針</p> <ol style="list-style-type: none">1. 北海道から世界へはばたく、視野の広い人間を育てます。2. 個性をみがき、夢の実現を目指す人間を育てます。3. 幅広い教養をもち、人生を豊かにできる人間を育てます。4. 地域を愛し、社会貢献の意欲に富んだ人間を育てます。5. 環境に配慮し、未来に責任をもつ人間を育てます。

卒業の認定に関する方針（公表方法：）
【ホームページ】学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]
<https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/outline/policy.html>

（概要）

学位授与の方針 [ディプロマ・ポリシー]

建学の精神「生氣あふれる開拓者精神」のもと、「地域共創」の理念を体現し、教育目標に謳われる「生氣に溢れ、知性豊かな、信頼される人間」に成長し、以下に掲げる資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

<知識・理解>

言語、歴史、自然、文化、政治、経済、産業、社会、法制度、地域、国際、スポーツの諸側面から人間と社会に関する理解を深め、急激な変化を繰り返す21世紀の社会に対し、持続的かつ総合的に対処できる広い視野と知識を身につけていること。

<関心・意欲>

地域の政治、経済、産業、社会、文化の発展を希求し、経済学、外国語学、経営学、法学、文化学に関する専門知識を駆使してその推進に貢献する意欲を身につけていること。

<技能・表現>

基礎的な語学力をベースに国境を越えて発展する地域の諸相を見聞・体感し、情報を収集・分析する技能と、それを分かり易く表現する能力を身につけていること。

<態度・志向性>

地域の取り組みに参加することを通じて、地域において他者と共に新しい価値を生み出す力、すなわち「地域共創力」を身につけていること。

以上のようにディプロマ・ポリシーを定め、ホームページ・履修のてびきにおいて公表している。また、これに基づき教育課程表を定め、公表し、2月末に卒業判定を行っている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：）
【ホームページ】
札幌大学 教育課程編成・実施の方針 [カリキュラム・ポリシー]
<https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/outline/policy.html>

（概要）

学位授与の方針を踏まえ、自由な学びを通じて主体性を育み、総合的な教養を涵養するために、以下の方針に基づき教育課程を編成します。

なお、単位認定にあたっては成績評価基準に基づく厳格な評価を行います。

- 1 全学共通の基盤教育科目と全学に開放された専門科目を配置し、多様な学びを提供します。
- 2 基盤教育科目では、豊かな教養とグローバル世界に対応できる語学力、社会人としての基礎知識を身につけるための科目を配置します。
- 3 専門科目では、主専攻の深い専門性を担保する科目を配置すると共に、副専攻をも視野に入れた専攻の枠にとらわれない科目群を提供します。
- 4 地域を共に創造する「地域共創」の理念を、自ら考え行動し体験知として身につけるため、アクティブラーニングを重視します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：）

札幌大学 入学者受入れの方針 [アドミッション・ポリシー]

<https://www.sapporo-u.ac.jp/univ-guide/outline/policy.html>

【印刷物】受験ガイド、入学者選抜要項

（概要）

札幌大学では、豊かな教養と確かな実践力を備え、他者と協力し、未来を切り拓き、地域や世界へはばたこうとする意欲的で多様な価値観をもつ学生を求めています。

そのため、以下のような資質・能力・意欲を持った人物を入学者として受け入れています。

・特定の教科にとらわれず幅広く学習した基礎学力に加えて、得意な教科を有していること。

・英語、簿記、情報関連等の資格、検定の取得成果を有していること。

・課外活動、生徒会活動、ボランティア活動等を通して、主体性、協同性を発揮していること。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：【ホームページ】

教育研究上の基本的な情報 <http://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	5人	—					5人
地域共創学群	—	56人	9人	2人	3人	0人	70人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		117人					117人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法：【ホームページ】教員組織、各教員が有する学位及び業績 http://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>2019年度において、教育内容の向上、教員の資質向上を目的として学外講師によるFD研修会を本学で実施した。また、学外で実施されるFD研修会等にも参加している。2020年度においては、新任教員を対象としたFD研修、遠隔授業実施講習会を実施。今後は教員のニーズを調査し、より興味関心度の研修会の実施を予定している。</p> <p>【2019年度】</p> <p>① 学内FD研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学生の学習を促すルーブリック評価入門」 ・「学生と同僚をハラスメントから守る—ハラスメントのない環境を作るためには—」 ・「GPS-Academicについて」 <p>② 学外研修会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDeR養成講座 ・FDネットワーク“つばさ”FD協議会 ・北海道FD・SD協議会主催研修 <p>③ 学生による授業改善アンケート調査の実施</p> <p>春学期中間・期末、秋学期中間・期末の年4回にわたり調査を実施。</p> <p>【2020年度】</p> <p>① 学内FD研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新任教員対象FD研修」 ・「アイトスを用いた遠隔授業実施講習会について」 <p>② 学生による授業改善アンケート調査の実施</p> <p>春学期末・秋学期末の年2回実施予定。</p> <p>③ 遠隔授業の実施にあたり、学生の現状把握や意見を吸い上げる機会として、全学生を対象としたアンケート調査の実施を検討。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
地域共創学群	800人	816人	102.0%	3,500人	2,877人	82.2%	人	5人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	800人	816人	102.0%	3,500人	2,877人	82.2%	人	5人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
地域共創学群	515人 (100%)	12人 (2.3%)	445人 (86.4%)	58人 (11.3%)
合計	515人 (100%)	12人 (2.3%)	445人 (86.4%)	58人 (11.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 北海道大学大学院、大阪大学大学院、東北大学大学院、札幌大学大学院、北海道職員、札幌市職員、道内市町村職員、公立学校教員、イオン北海道株式会社、ANA 新千歳空港株式会社、株式会社北洋銀行、株式会社 ニトリ、				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
地域共創学群	663人 (100%)	450人 (67.9%)	62人 (9.4%)	103人 (15.5%)	48人 (7.2%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	663人 (100%)	450人 (67.9%)	62人 (9.4%)	103人 (15.5%)	48人 (7.2%)
(備考) 留年者は、卒業単位が不足しているものである。 中途退学者数のうち、進路を検討するため退学する者が多い。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) 授業科目担当者に対し以下の項目に関して記載すべき事項を示した「シラバス入稿要領」を配布し、シラバス作成を依頼。 【シラバス記載事項】 ①テーマ、②到達目標、③授業概要、④授業計画、⑤事前学習、⑥事後学習、 ⑦成績評価、⑧テキスト、⑨参考文献、⑩特記事項、⑪オフィスアワー WEB上で公開し、1年次開設科目については冊子を作成し、新入生にガイダンスにおいて配布。 今年度の授業運営については、コロナウイルス感染症の感染拡大のため、春学期については、遠隔授業により授業を実施している。秋学期については、極力対面授業を実施する予定。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要) 学則において、「履修した授業科目については、試験を行い、学業成績を考査する。試験は筆記、口頭、実技及びレポートによって行う。」と定めている。 これに則り、シラバスに「授業計画」及び「成績評価」等を明記し、学生に周知している。 シラバスの授業計画に基づき、試験を行い、評価、履修の認定を行っている。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
地域共創学群	人間社会学域	124 単位	㊥・無	40 単位
経営学部	経営学科	128 単位	㊥・無	48 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		<p>公表方法：学則、履修に関する学務規程に定める成績評価基準に従い、各評価にGPを与え、学期・通算のGPAを算出している。 各セメスターの履修限度単位数を20単位に定めている。 https://www.sapporo-u.ac.jp/campuslife/support-study/ 本学独自の奨学金選考の際にも活用している。</p>		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法： 【ホームページ】校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境 http://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/</p>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
地域共創 学群	人間社会 学域	770,000円	200,000円	130,000円	令和2年度入学生 その他：教育充実費(10,000円)、施設設備費(120,000円)
	人間社会 学域	770,000円	円	120,000円	令和元年度以前入学生 その他：施設設備費(120,000円)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 【アドバイザー制度】 アドバイザー教員が担当学生との面談を実施し、修学相談や指導を行っている。 【学修支援センター】 基礎学力の養成、授業に対する理解度を深めるなど、学生の学修全般のケアを行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 【キャリアサポートセンター】 個人面談：学年問わず、将来についての相談をいつでも受け付けしている。進路についての悩みや不安はもちろん、履歴書の書き方、面接の練習なども応じている。卒業後も利用可能。 資格・検定・公務員試験の受験対策講座：多くの講座は学内で開講し、受講料も安く設定している。合格者へのキャッシュバック講座もあり、学生の意欲向上に繋がっている。 【就職講座】 就職活動はいつ、何からスタートすればいいのか。自分を知る・相手を知ることを目的に、就職活動の流れから合同企業説明会の有効活用術までを支援する。 【インターンシップ】 派遣先は「北海道地域インターンシップ推進協議会」を通じた企業の他に、学生の選択肢が広がるよう積極的に大学が受け入れ先も開拓している。インターンシップ講座も実施しており、インターンシップの拡大・充実を図っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 【学生相談室】 学生からの学生生活で発生するさまざまな悩みの相談に対し、よりよい方法を一緒に考え、より充実した学生生活を送れるように支援を行っている。学生だけではなく、保護者や教職員からの相談にも応じ、相談員がプライバシーに配慮した上で問題解決に向けた支援を行っている。また、相談員に相談できるほか、週に一度の精神保健相談日に精神科医師にも相談することができる体制を整えている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：【ホームページ】教育研究上の基礎的な情報 http://www.sapporo-u.ac.jp/disclosure/
--